

# せいそううどく 清爽得得

「晴れた日には田畑を耕し、雨の日には家に引きこもって読書する」。そんな晴耕雨読の生活に憧れます。私たちの毎日は、雨の日も晴れの日も、猛暑の夏も凍える冬も、掃除、掃除の連続。「いつも大変ねえ」と声をかけてくださる方もいますが、でも本当は、そんなに大変ではありません。清掃って、手を抜かずに一生懸命やっていると、不思議といろいろな“得”（徳?）がついてくるのです！

□□□□ ]□□□ □□たてものサービス通信・2024年・夏号（第48号） 株式会社たてものサービス□□□□

— ごあいさつ —

暑さもいよいよ本番を迎えました。先日、川口工業高校の「掃除部」の生徒さんにお会いする機会をいただきました。聞くと、部活動として週2回、校内のトイレや廊下等の掃除を行っているとのこと。実際にトイレを見ると、キレイな状態で維持されていました。掃除部は校内だけではなく、定期的に学校周辺の街のゴミ拾いも行っているようです。生徒さんたちとお話をしていると「大人も負けてはいられない」と思いました。暑さに負けずスタッフ一同「プロ」として頑張っておりまして、今後ともよろしくご挨拶申し上げます。

## 掃き掃除の“ワザ”を競い合いました

### キレイ1グランプリ『ゴミゼロ』を開催

#### ◎スキルアップを目的に掃き掃除の社内競技会を実施

5月30日は「ゴミゼロの日」と呼ばれているのですが、この日に弊社では、初となる掃除の社内競技会を行いました。競技の内容は「掃き掃除」のスピードを競うもの。2m×2mの正方形のコートの中に53個のゴミをまき、誰が一番早くチリトリに掃き取り、ゴミ箱に捨てることのできるか、という非常にシンプルな競技です。「利き手」と「利き手でないほうの手」、それぞれで競技し、2人の初代チャンピオンが誕生しました。「キレイ1グランプリ ゴミゼロ」とネーミングしたこの大会の様子は、TOKYO MX テレビの朝の情報番組でも取り上げられました。



#### ◎『月刊ビルクリーニング』の表紙に登場しました

月刊ビルクリーニングの5月号の表紙を飾らせていただきました。写真は代表の鈴木とPS事業部の吉沢です。誌面のなかでは「ビルメンにかける想い」のコーナーで熱い気持ちも語らせていただきました。



#### ◎リクエストカードを同封いたしました

些細なことでも結構ですので、ご意見やご要望がございましたら、ご指導くださいますようよろしくお願いいたします。

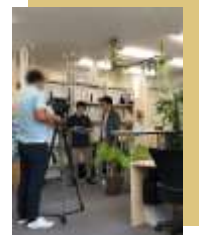
## 現 場 だ よ り

### ★★ 弊社がテレビに出ました ★★

テレビ埼玉の『埼玉ビジネスウォッチ』（毎週土曜日放送）の特集で弊社の取り組みが紹介されました。放送日は6月29日。すでに放送は終了していますが、以下のQRコードから放送回をご覧くださいことができます。（QRコードを読み込みリンクをタップすると番組ホームページに遷移します）。よろしければぜひ、ご覧くださいませ。



埼玉ビジネスウォッチ



弊社を取材先として選んでいただいたことはもちろんうれしいのですが、それ以上にうれしく思いましたのが清掃業界にスポットを当てていただいたこと。清掃業界も例にもれず深刻な人手不足に陥っておりますが、世の中の関心が少しでも寄せられることで、業界が活性化していくことを願っております。

くも考えてしまう今日この頃です。（鈴）

連載のタイトルは「七転び八起の清掃経営サバイバル」なのですが、見出しが悪い今の世の中を進むには七転びがなくなることはなさそう。であれば扱う失敗実例が枯渇することなさそうだ、などと軽くも重くも考えてしまう今日この頃です。（鈴）

最近ではインボイス制度や電子帳簿保存法への対応、大きなところでは最低賃金やインフレ対策、そして健康経営等々、働き手不足が深刻化する一方で会社が担うべき役割・責任は増し、見直すべき事項がどんどん増えていくように感じます。大手であれば分担して対処できることでも、我々にはそういきません。

あらためて思いますのが、つまずきやくじりは生きていく以上避けられない、ということ。特に現代は、急速なデジタル化やバンデミックで世の中の意識やルールが様変わりし、正解を求めて組織を運営していくことが甚だ困難になりつつあります。

最近ではインボイス制度や電子帳簿保存法への対応、大きなところでは最低賃金やインフレ対策、そして健康経営等々、働き手不足が深刻化する一方で会社が担うべき役割・責任は増し、見直すべき事項がどんどん増えていくように感じます。大手であれば分担して対処できることでも、我々にはそういきません。

業界唯一の専門誌である『月刊ビルクリーニング』で連載をスタートさせていただくことになりました。清掃をテーマに1988年の創刊以来絶えず情報を発信し続け、業界を引っ張ってきた編集部の方々の努力に頭が下がります。業界を盛り上げよう、という空気を紙面の随所に感じ、読んでいてすがすがしい気持ちになります、いつも元気づけられます。

連載は、清掃のノウハウや知識に関するものではなく、これまで清掃会社を運営してきたなかでのつまずきや失敗を振り返り、どう対処してきたのかを伝える内容です。目次案を考える際に過去にどんな失敗があったかをまとめましたが、やはりといえますが、これまで色々ありました。

「清爽得得」掃除でイイコトありました  
七転び八転び……

— こんな会社づくりを目指しています — (たてものサービスの会社理念)

「私たち(株)たてものサービスは、「掃除」を通して自分を磨き、お客様、働く仲間、そして家族のキラキラ輝く笑顔を守ります」

サービス向上のため、「もっとこうして欲しい」などのご意見がありましたら、ぜひお寄せ下さい。